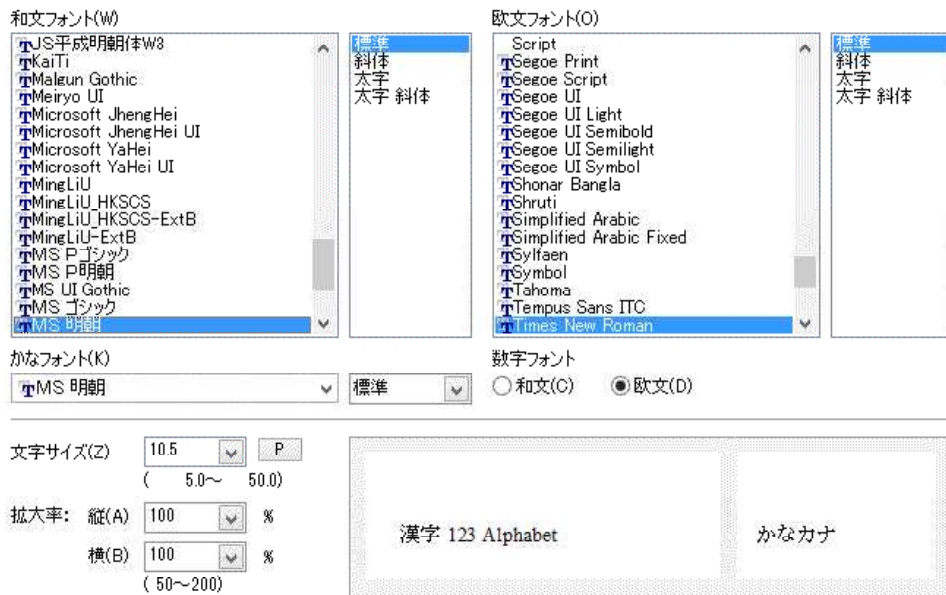


# 写真が中心！ 文字はほどほどに

(所属や氏名) 全国中学校理科教育研究会東京大会速報係 山口 晃弘

(平文) 全国から1000名を超える理科関係者が東京に集まっていただきましたことに心が躍ります。心から歓迎いたします。天候も味方をしてくれたようで、ほっとしているところでございます。



# 一人でも多くの氏名 学校名、都道府県名も盛り込む

## 少なくとも2枚は写真 カラー印刷を生かした紙面構成 を！しかし、品位は落とさずに…

見出しはPOP文字  
氏名、学校名、都道府県名は  
ゴシック・ボールド  
平文は明朝 10.5p

# 編集は、 一太郎で



## …↓この1文は必ず入れます

※ 大会速報は理想科学工業（株）の協力により ORPHIS EX 9050 で印刷しています。

# 大会速報

第60回全中理東京大会  
平成25年8月7日

No. 01

## 参加者全員が主役！ 熱い意見交流を

全国中学校理科教育研究会東京大会運営委員長 立澤 比呂志

全国から1000名を超える理科関係者が東京に集まってくれましたことに心が躍ります。心から歓迎いたします。天候も味方をしてくれたようで、ほっとしているところでございます。

次の教育課程を見据え、現在の教育課程の見直しが始まっています。今回の第60回全国中学校理科教育研究会東京大会は、その始まりに当たるということで、皆様の大会に寄せる期待も大きいものと推察いたします。運営者一同、参加者全員で「新しい時代の理科教育のあり方」を大いに語り合うことを願い、「参加型」の大会を志向し準備を進め、お待ちしております。今日からの三日間、皆様の熱い思い等を出いただき、皆様で価値ある大会を創り上げていただきますよう心から願っております。

また、東京は、日本の首都です。今年の夏はことのほか暑いようです。熱い議論だけでなく、東京の暑い夏も満喫していただき、心のおみやげをたくさんお持ち帰りいただければ幸いです。

よろしく願いいたします。



**開催期日・会場** 平成25年8月7日(水)～9日(金)

8月7日(水) 役員会、理事会、ブロック会議、レセプション：浅草ビューホテル  
8月8日(木) 開会式、文部科学省講演：かつしかシンフォニーヒルズ(モーツァルトホール)  
分科会：かつしかシンフォニーヒルズ、テクノプラザかつしか、ウィメンズパル  
8月9日(金) ブース展示・発表、記念講演、閉会式：かつしかシンフォニーヒルズ

### 日程

	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
1日目 (8月7日)					受付	役員会	理事会	写真	ブロック 会議	レセプション	
2日目 (8月8日)	受付	開会式	文科省講演	昼食・移動		分科会(5分科会)					
3日目 (8月9日)	ブース 展示・発表		記念講演	閉会式		ブース 展示・発表					

### 会場所在地・周辺地図

**かつしかシンフォニーヒルズ**  
〒124-0012 東京都葛飾区立石 6-33-1  
TEL 03-5670-2222  
京成青砥駅徒歩5分 京成立石駅徒歩7分

**テクノプラザかつしか**  
〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-2-1  
TEL03-3838-5555  
京成青砥駅徒歩12分

**ウィメンズパル**  
〒124-0012 東京都葛飾区立石 5-27-1  
TEL 03-5698-2211  
京成青砥駅徒歩13分  
京成お花茶屋駅徒歩8分  
京成立石駅徒歩10分

**浅草ビューホテル**  
〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1  
TEL 03-3847-1111  
東武線・都営浅草線浅草駅徒歩10分  
東京メトロ銀座線田原町駅徒歩7分  
つくばエクスプレス浅草駅直結

※ 大会速報は理想科学工業(株)の協力により ORPHIS EX 9050 で印刷しています。

**研究主題** 「科学的な資質や能力を育み、豊かな未来を創造する理科教育」

**大会主題** 「科学的な体験を通し、意欲的に探究する力を育む理科教育」

**開催期日** 平成25年8月7日(水)・8日(木)・9日(金)

**開催会場** かつしかシンフォニーヒルズ 浅草ビューホテル  
テクノプラザかつしか ウィメンズパル



# 大会速報

第60回全中理東京大会  
平成25年8月7日

No. 05

## 第1分科会 (教育課程)

自然や人とのかかわりをとらえ、学び続ける  
力が育つ教育課程

- (1) 基礎・基本の確実な定着を図る教育課程
- (2) 自然と人とのかかわりを通して、目的意識を持って学ぶ意欲を  
育てる指導計画
- (3) 自然に対する興味・関心を高め、問題解決能力を育む選択理科
- (4) 今日的な課題や日常生活との関連を図った指導計画

### 「自然への関心を高め、主体的な探究活動を促す教育課程」にするために

〇〇県 〇〇市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

単元指導計画の工夫により、生徒の学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などを引き出すための授業のあり方を検討してきた釧路中学校理科教育研究会の実践の経過が紹介された。発表後の質疑では、MD(マーケティング・ディスカッション)はどの場面で行ったのか、どのくらいの時間をかけたのか、また、MDを行うとき、班の生徒にはどのような役割分担をさせたのかなどの質問が出ていた。

### 地質学分野の単元における視聴覚機器を活用した指導計画

〇〇県 〇〇市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

地質分野の地層に関する単元では、露頭の観察が欠かせない学習活動となっている。わずかな観察時間により効果の上がる学習活動にするために作成されたソフトについて、実物のソフトを使いながら発表があった。この地層観察ソフトは、実際に観察できない場所を写真等で補うためのものだが、観察前に地層の見方を学習したり、観察後に発展学習の資料として活用する等の方法が考えられる。また、選択理科での活用も可能である。

### 自然界のつり合いの巧妙さをとらえさせる教育課程

～生物とそれらを取り巻く環境を調べる活動を通して～

〇〇県 〇〇市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

「豊かな自然」が少ない都市部の生徒にも、自然界のつり合いの巧妙さをとらえさせるために編成された教育課程と、その実践について発表された。教育

課程の編成では直接体験を重視し、生物を教室に持ち込み、継続観察とともにそれらを取り巻く環境を調べる活動が位置づけられている。発表では授業風景がビデオで紹介され、意欲的に活動する生徒の様子が印象的であった。

### 学校の特色を生かした教育課程の編成と指導

～「環境」をテーマとした選択理科の実践を通して～

〇〇県 〇〇市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

〇〇中学校が行っている、給食から出る生ゴミ処理などの、環境に配慮した取り組みをもとにした選択理科の指導についての発表が行われた。教師が与えた課題を解決する取り組みから、個人研究へ発展していった経過や、竹炭づくりに取り組み、できた竹炭を商品化して地区の祭りに出店して販売させたこと、その中での地区の人たちとのふれあいが、その後の学習活動の励みになったことなどが報告された。

### 今求められる選択教科の展開

～「オープンカリキュラム」による選択教科～

〇〇県 〇〇市立〇〇中学校 〇〇 〇〇

来年度から完全実施される新学習指導要領で、選択教科の履修幅が一層拡大されることを受け、「オープンカリキュラム」による選択教科開設への取り組みが発表された。この方法は、教科だけではなく、「方法」や「時間」も生徒が選択し、「自分の時間割」をつくることにより、最後まで主体的・自律的に学習を進めていくことを可能にする学習システムである。発表後、この方法がとれる学校規模ほどの程度までか等の質問が出された。

### 研究討議・助言

野外観察については、修学旅行や宿泊学習を利用したり、地域サークルと連携し、PTA行事として実施しているなどの例が報告された。また、助言者の先生からは、必修理科では基礎・基本を、選択理科では発展的なもの、不十分なものをというように、必修と選択をセットで考える必要がある、必修の内容を越え、環境に焦点が絞られているものは、総合的な学習の時間で取り扱うなどの工夫も必要であるというお話があった。

